七夕のお食事　in　栄養管理

当院では、七夕の日には、配膳時に短冊を配り、願い事を書いていただきます。
病棟詰所付近にある七夕飾りに結んでいただき、後日、短冊は、神社に奉納させていただいております。

栄養管理担当主幹　岩佐　美奈子

七夕の由来を紹介

「棚機（たなばた）」とは古い日本の禊ぎ（みそぎ）行事で、乙女が着物を織って棚にそなえ、神さまを迎えて秋の豊作を祈ったり人々のけがれをはらうというものでした。
選ばれた乙女は「棚機女（たなばたつめ）」と呼ばれ、川などの清い水辺にある機屋（はたや）にこもって神さまのために心をこめて着物を織ります。そのときに使われたのが「棚機」（たなばた）という織り機です。
やがて仏教が伝わると、この行事はお盆を迎える準備として 7 月 7 日の夜に行われるようになりました。現在七夕という二文字で「たなばた」と当て字で読んでいるのも、ここから来ていると言われています。

五節句とは

人日（1 月 7 日）、上巳（3 月 3 日）、端午（5 月 5 日）、七夕（7 月 7 日）、重陽（9 月 9 日）